

事務事業名 各種事業・教室開催事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：714

施策：	22	スポーツ・レクリエーションの推進	財務コード	01090701-03-00
基本事業：	02	年齢や体力に応じたスポーツの振興	担当部	教育部
基本事業の成果指標	スポーツをする機会が充分だと思ふ市民の割合（18歳以上65歳未満） スポーツをする機会が充分だと思ふ市民の割合（65歳以上） 学校の体育以外で、スポーツをしている児童・生徒の割合 親子でスポーツをしている市民の割合		担当課	文化・スポーツ振興課
			担当係	スポーツ振興担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和40年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民			広報や市公式ホームページ、ポスターなどで参加者を募集し各行事を開催 [行事内容] いきいきニュースポーツ広場（6月）：スポーツ推進委員主催によるニュースポーツの紹介・体験と体力測定を開催。 福祉レクリエーション講習会（5月）：レクリエーションの提供の仕方、楽しさを学ぶ学習会を生涯学習センターで3回開催。 生涯スポーツセミナー（6月）：生涯にわたって、スポーツを楽しむための講習会を開催。 筑紫野市民水泳大会（7月）：小学生から大人まで水泳に親しむ大会。 スポレクフェスタ（11月）：農業者トレーニングセンターや筑紫運動広場で、各種スポーツの体験イベント、ベタンク大会を開催 筑紫野市駅伝大会（1月）：5区間をチーム単位で競う大会						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
さまざまな人々がふれあい、交流を深め、気軽に「する」「みる」「つどい」「つなぐ」ことが出来るようなスポーツ活動の場を提供する。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	目標
			実績	実績	当初	要求	計画	計画	
各種事業、教室の参加者数		人	307	63	7,000	7,000			7,000
5. コスト									
事業費		計	千円	697	174	1,618	3,268		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	697	174	1,618	3,268				
正職員人工数		人工	0.4	0.4	0.4	0.4			
正職員人件費		千円	3,212	3,168	3,091				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	3,909	3,342	4,709	3,268			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、各種事業・教室開催事業が中止となった。 コロナ禍で多くのスポーツイベントが中止となった							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	あり						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地あり						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄					
既存のスポーツは、スポーツ本来の楽しさを感じる技術に達するまで時間を要し、体力も必要となる種目が多い。こうしたことから、世代を問わずだれもが気軽に楽しめるスポーツの普及を地域に広める必要がある。				新型コロナウイルス感染症拡大防止のための各種事業・教室開催事業の中止等により、利用者数が減少した。					